

第 63 回
印度学宗教学会学術大会

日程

2022 年 5 月 28 日（土）・ 29 日（日）

会場：オンライン（Zoom）

印度学宗教学会事務局
〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
東北大学大学院文学研究科
インド学仏教史研究室, 宗教学研究室内
Tel(Fax): 022-795-6025 (3587) [インド学]
Tel & Fax : 022-795-6022 [宗教学]
E-mail: indoreligio@gmail.com

第1日 5月28日(土)

□開会の挨拶 (9:00)

印度学宗教学会会長

□研究発表 (9:10~12:00)

- 1 諷誦文の成立—『本朝文粹』所収のテキストを手がかりに— 芳野 貴典 (総合研究大学院大学)
- 2 倫理の進化—後期更新世相当の狩猟採集民にみられる倫理と宗教經典および民族誌にみられる倫理の比較—
勝丸 浩之 (東北大学)
- 3 ジャイナ教戒律注釈文献にあらわれる非僧非俗者について 藤本有美 (宮城県農業高等学校)
- 4 スピリチュアルケアと「接触」—ケア対象者に触れることの是非— 大村 哲夫 (東北大学)
- 5 教派神道と教典 澤井 治郎 (天理大学)
- 6 死者臨在感覚の研究史 諸岡 了介 (島根大学)
- 7 有我論と無我論の弁証・続篇 木村 俊彦 (四天王寺大学)

□昼休み (12:00~14:30)

□理事会 (12:10~13:10)

□評議員会 (13:10~14:10)

課題研究『受難と再生』(14:30~16:30)

- 司会 谷山 洋三 (東北大学)
- 古代インドの刑吏の歴史とその「解放」—nagaraguttikaを巡る試論— 笠松 直 (仙台高等専門学校)
- 長崎のキリシタンと原爆 福田 雄 (ノートルダム清心女子大学)
- 社会の中の天理教の教会：新たな展開への試み 堀内 みどり (天理大学おやさと研究所)
- 「死罪」から「魂魄」に、そして「再生」へ—日蓮にみる— 間宮 啓壬 (身延山大学)

ディスカッション

第2日 5月29日(日)

□研究発表(9:00~11:25)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1 アイヌ霊送り説話の構造分析——変身モチーフに着目して | 馬場裕美 (東北大学) |
| 2 イスラームにおける聖者論の展開 | 澤井真 (天理大学おやさと研究所) |
| 3 ヘールカとジュニャーナパーダ | 菊谷竜太 (高野山大学) |
| 4 小津安二郎と「死者の記憶」—『東京物語』を中心として | 滝澤克彦 (長崎大学) |
| 5 梵文『法華経』諸伝本における動詞 man の活用の推移について | 笠松直 (仙台高等専門学校) |
| 6 ウィルフレッド・C・スミスの宗教理解とその特徴 | 澤井義次 (天理大学) |

□総会(11:40~12:40)

□閉会の辞

印度学宗教学会会長